

## 1. 地域貢献

留学生センターでは、地域連携推進室及び地域創生センターとの協力によって、さまざまな地域の国際化を図る取り組みを行っている。

### 1) 地域貢献（多文化交流・地域共生）事業のポイント

■異なる文化を持った人を受け入れ、共生を目指す地域社会を創造する

～お互いの共生・協労への理解～

■地域に住む住民としての外国人と日本人の関係を作る

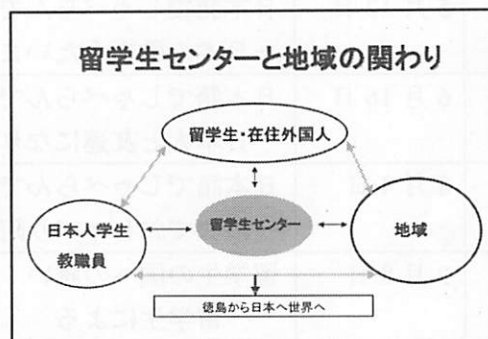
～出会いの場と共存を考える活動の提供～

■徳島という地域で独自の共生を住民で考える

～将来の共生の担い手に学習課題としての提示～

### 2) 事業の目的と経過

留学生センターは、地域に根ざした異文化理解を進める取り組みを行っている。下図のようにセンターが中心となり①留学生・在住外国人②日本人学生と教職員、そして③地域の、人と人をつなぐ様々な活動を計画・実施している。



将来、少子・高齢化といった社会情勢に応じて、徳島県にも外国人労働者が急激に増加する可能性がある。その際、互いに地域住民として共生・協労への理解を図る地域社会（コミュニティ）作りが重要な問題となろう。この視点から、センターでは従来の<講座>「国際交流ボランティア入門～地域の外国人を支援する～」や「国際交流サロン」（月1回開催、留学生とともに日本文化を楽しむ）、そして「異文化理解出張講座」（教育機関・公民館の依頼による）を進めて来た。そして今年度は新たに「平成19年度（財）中島記念国際交流財団助成留学生交流事業」の助成を得て、徳島県西部の美馬市と共催し「まほろば国際プロジェクト」を平成19年7月から20年1月にかけて実施した。

### 3) まほろば国際プロジェクト

徳島大学の留学生が美馬市を訪問し、地域住民（子どもから高齢の方々）と様々な交流活動を行った。

#### ①7月15・16日

日本語研修コース学生6名の郡里小学校訪問。授業見学と国紹介による交流。

#### ②10月28日～11月4日

武漢大学（中国）学生（徳島大学協定校）9名の国民文化祭イベント（能楽の祭典・吉野川探訪プロジェクト・映像フェスティバル）運営ボランティア活動とホームステイ交流。

#### ③12月15・16日・1月18-20日・26-27日

日本語研修コース学生6名と美馬市民33名による演劇活動。市民参加をよびかけ、12月



から演劇のための練習を開始、美馬市施設への宿泊とホームステイによる交流。最終日の1月27日には、脇町劇場オデオン座にて「どんぐりと山猫」(宮澤賢治作)を公演。観客を含め約200名の参加があり、観客と出演者が共に作るあたたかい雰囲気、拍手が響き、観客、出演者からも好評を得た。「知り合おうー触れ合おうー認めあおう」(徳島県国際化フレンドシップ憲章のことば)が示す、地域から進める国際化を実践する活動となりえた。今後も人と人の出会いと協力を考えた、地域を活性化に結びつく国際交流活動を推進したい。

#### 4)「国際交流サロン」

地域及び日本人学生と留学生との協働の場として、5月から3月まで毎月土曜日に行った。留学生センターが行っている公開講座「国際交流ボランティア入門ー徳島に住む外国人を支援するとは」の修了者で、地域サポーター登録者の中から本サロンの運営を留学生センターと共に行うボランティアグループ「JSS」が発足して1年経った。2年目となった本年度も、日本語を使って行う様々な企画を実施した。内容は以下のようである。

	実施日	内 容	参加人数 (地域・日本人学生 /留学生)	備 考
1	5月12日	日本語でしゃべらんで ー日本の歌をうたいましょうー	25 (14/11)	
2	6月16日	日本語でしゃべらんで ー日本人と友達になりませんかー	41 (25/16)	
3	8月4日	日本語でしゃべらんで ー浴衣でおしゃべり阿波踊りー	22 (13/9)	
4	9月8日	留学生の国への誘い ー留学生による 日本語でのお国紹介ー	77 (54/23)	がのり新蔵展示室第 5回特別展 「国際交流の扉を 拓く」関連イベント 及び「国際交流サロ ン」として実施
5	10月20日	日本語でしゃべらんで ー書を楽しもうー	25 (16/9)	
6	11月2日	徳島大学祭 ー多文化体験交流会ー	ー (16/ー)	徳大祭・留学生セン ター交流会に合流
7	12月15日	日本語でしゃべらんで ー茶道を体験しようー	17 (8/9)	
8	1月12日	日本語でしゃべらんで ー世界の味を楽しもうー	22 (9/13)	
9	2月9日	日本語でしゃべらんで ー折り紙	35 (20/15)	
10	3月1日	日本語でしゃべらんで ー3月の行事・ひな祭りー		着物を着た留学生 と雛壇を飾る

### 5) サポーター制度

留学生センターには、日本語教育をはじめとする留学生センター（以下センターとする）の活動を支援する徳島の住民からなる「地域サポーター」と徳島大学の学生達からなる「学生サポーター」の登録システムがある。センターの活動でサポーターの必要性が生じた時、それぞれの活動に合わせて、地域サポーターに、学生サポーターに、地域と学生サポーターの双方に一斉メールで呼びかける。サポーターは義務や拘束はなく、都合のいいときに参加できる。日本語授業のような活動に参加する場合は、事前に担当教員よりその主旨説明ややり方などの指導を受け、クラスに参加する。現在サポーター数は、地域サポーター59名、学生サポーター35名、計94名である。今年度の活動数は15で、延べ参加者数は地域71名、学生20名、計91名であった。

留学生サポーター 活動参加一覧表

	実施月	内容	地域・学生サポーター/人数
1	5月	書道体験学習 (漢字学習の予備学習)	地域サポーター 5名
2	5月	会話練習	地域サポーター 3名 学生サポーター 4名
3	5月	問題・課題解き	地域サポーター 4名 学生サポーター 2名
4	5月	会話・動詞変換練習	地域サポーター 4名 学生サポーター 2名
5	6月	作文チェック	地域サポーター 4名
6	6月	映画鑑賞及び話し合い	地域サポーター 4名 学生サポーター 1名
7	7月	フリートーク (大石)	地域サポーター 5名 学生サポーター 1名
8	7月	日本語表現 (作文) にコメント	地域サポーター 3名
9	7月	インタビュー	地域サポーター 5名 学生サポーター 3名
10	7月	アンケート作り	地域サポーター 5名
11	9月	コース修了式	地域サポーター 12名 学生サポーター 2名
12	10月	キャンパスツアー	学生サポーター 2名
13	11月	日本語会話練習	地域サポーター 3名
14	11月	書道体験学習 (漢字学習の予備学習)	地域サポーター 5名 学生サポーター 3名
15	2月	コース修了式	地域サポーター 9名

6) 「日本語教育をのぞいてみよう」

日本語教育とは何か、概略について地域サポーター対象の勉強会

参加者 6名

実施時間 18:30～20:00

実施回数 5回

第1回 1月31日(木)

第2回 2月7日(木)

第3回 2月21日(木)

第4回 3月4日(火)

第5回 3月17日(月)

2. センター業務としての出張

1) 大石寧子

■京都大学国際交流センター研究協議会及び

平成19年度(第2回)国立大学法人留学生指導相談担当研究協議会

■愛媛大学国際交流センター第9回フォーラム

経済産業省「アジア人財資金構想」シンポジウム及び「愛媛県日本語教育研修会」

■社団法人日本語教育学会評議員としての出張

2) 三隅友子

■まほろば国際プロジェクト関連引率

美馬市(研修コース留学生と郡里小学校・脇町小学校訪問)

国民文化祭行事(武漢大学学生10名と美馬市内イベント及びフィナーレ参加)

脇町劇場オデオン座にて演劇の実施

■徳島県立城内内高校 異文化理解講座(出張講座制度)

■渭北公民館 「外国人と友達になろう」講座

■とくしま県民活動プラザ 理事及び運営委員

■徳島県国際フレンドシップ憲章 作成委員会 会長

■「国際化講座」 徳島県自治研修センターの依頼

3) 金成海

■東京大学「国立大学留学生センター留学生指導担当研究協議会」

■「平成19年度日韓共同理工系学部留学生事業協議会」 大阪大学

■日中国駐大阪総領事館主催の「西日本地区各大学の国際交流・留学生担当者懇談会」

■日韓共同理工系学部留学生説明会 韓国

■「外国人学生のための進学説明会2007」大阪

■東京外国語大学留学生日本語教育センター大学進学説明会

■外国人留学生伊方力発見学旅行引率 愛媛

■徳島大学卒業留学生の研究活動調査 中国, アメリカ

4) 坂田浩

- 伊方原発見学引率（愛媛）
- 進学説明会（大阪大学）
- 日本人学生による留学生支援に関するシンポジウム（愛媛大学）
- スキーツアー引率
- アジア人材育成に関するシンポジウム（愛媛大学）

5) 上田崇仁

- 大阪日本語教育センター大学進学説明会